

1 すべての府民が図書館サービスを楽しむことができる環境の整備

目標：すべての府民が読書活動を通じて、文字・活字文化の恵沢を享受し、健康や幸福感を獲得できるよう“well-being”（身体的、精神的、社会的に良好ですべてが満たされた状態）を支えるサービスを展開し、府域図書館への情報提供、研修を実施することにより、広く環境整備が進むよう努めます。

（関連する基本方針：1・2・3・5）

1-1 だれもが読書に親しむことができるための環境づくりと支援サービスを実施します。

1-1-1 日本語を母語としない利用者に向け、さまざまな工夫を重ね、図書館が身近に感じられる環境を整えていきます。

具体的事業	自己評価 <令和8年度の成果と課題>
○母語による資料を見つけやすくする工夫を行います。 ・日本語以外の言語の資料リストを作成し、リストをもとに展示等を実施します。また、蔵書検索で言語別に資料一覧を表示できる機能が一層活用されるよう工夫します。 ●多言語資料リストを作成します。 ●蔵書検索の言語区分による検索の使い方の説明を「やさしいにほんご」ページ上に掲載します。 ●多言語資料の展示を実施します。 中央図書館 ・一般向け 年10回 ・こども向け 年12回	

○学校等団体が利用する特別貸出図書セットの新規作成および拡充をします。

○「やさしいにほんご」でのホームページ作成、利用案内・掲示等をさらに促進していきます。

○多言語によるおはなし会を開催します。

1-1-2 アクセシブルな書籍等を活用し、読書環境の充実に努めます。

具体的事業

○デイジー図書、テキストデータを作成し、NDL 視覚障害者等用データ送信サービスに対し、毎年 40 件以上のデータを提供します。

●指標：年 40 件以上

○アクセシブルな書籍（点字図書、LL ブック、拡大図書、音声デージー、デージー図書）等を積極的に収集します。

●指標：5 年で 800 点

○読書バリアフリーを推進するサービス（以下、バリアフリーサービス）普及のため、障がいや病気、高齢などの理由で本が読めない、読みづらくなった人に自分に合った読書方法を見つけてもらう「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界」イベントを継続して開催します。

自己評価 <令和 8 年度の成果と課題>

NDL 視覚障害者等用データ送信サービスへの提供件数

	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
年 40 件以上					

アクセシブルな書籍等の収集点数

	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
5 年で 800 点					

1－2 市町村立図書館向けに研修の実施と、情報提供をおこないます。

○府域図書館職員、学校関係者等を対象とした研修を実施します。

- ・児童サービス、バリアフリーサービスに関する司書セミナー等での研修を実施します。

- ・学校と図書館との合同研修開催に合わせて「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界」を実施することにより、合同研修参加者へ効果的にバリアフリーサービスの関心を高めるよう努めます。

<R8 総括>

<R9 総括>

<R10 総括>

<R11 総括>

<R12 総括>

2 府立図書館蔵書の利活用の拡充 ～非来館型サービスの促進～

目標：府立図書館蔵書をより広く利活用していただけるよう、Web 上のコンテンツの充実など、図書館に来館しなくても利用できるサービスの促進に努めます。
(関連する基本方針：1・2・3・5)

2-1 「おおさか e コレクション」へのデジタルコンテンツ追加など、非来館サービスの拡充を図ります。

具体的事業	自己評価　＜令和８年度の成果と課題＞					
○中之島図書館所蔵の古典籍資料等のデジタル化を推進するとともに、国文学研究資料館の「データ駆動による課題解決型人文学の創成～データ基盤の構築・活用による次世代型人文学研究の開拓～」(略称「国文研 DDH プロジェクト」)への協力をすすめます。	デジタル画像作成件数					
		8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	自館作成 年 5,500 件					
	国文研作成 5 年間 30,000 件					

○おおさか e コレクションへのアクセス数の増加を目指します。

●指標：年 16 万件（うちコンテンツへのアクセス数 年 5.5 万件）

おおさか e コレクション全体および個別コンテンツへのアクセス件数

	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
全体へのアクセス 件数 年 16 万件					
うち個別コンテン ツへのアクセス件 数 年 5.5 万件					

○国際児童文学館所蔵戦前期のこども向け雑誌のデジタルデータを「国立国会図書館未収かつ入手困難資料のデータ収集事業」へ提供します。

●指標：年 100 件

「国立国会図書館未収かつ入手困難資料のデータ収集事業」への提供件数

	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
年 100 件					

<R8 総括>

<R9 総括>

<R10 総括>

<R11 総括>

<R12 総括>

3 資料の保存と管理の検討

目標：蔵書の適正な管理を行い、府民が常に必要な情報や知識を的確に得られるよう、府立図書館の重要な役割の一つである資料の長期保存と提供に努めます。多種多様な所蔵資料を継承していくため、資料保存の検討を継続して実施します。さらに、令和6年度に完成した新書庫の効果的な活用について検討します。

(関連する基本方針：1・2・3・4)

3-1 書庫の有効活用を検討し実施します。

3-1-1 中之島図書館の新館書庫完成を受け、資料の配架計画を整えていきます。

具体的事業	自己評価 <令和8年度の成果と課題>
○書庫耐震改修工事完了により当面の収蔵能力が確定したことから、館内各書庫の配架状況、中之島図書館の収集方針、及び今後の資料増加に合わせた配架計画を整え、実施に向けた調整を行うことにより、資料の適切な保存と管理に努めます。	

3-1-2 中央図書館の地下2階書庫完成を受け、配架計画に基づき資料の配置を整えていきます。

具体的事業	自己評価 <令和8年度の成果と課題>
○新たに地下2階書庫を拡充したことにより、地下1階書庫の開館以来の配架状況、今後の資料増加に合わせた配架計画に基づき、効率的な配置を行うことで、資料の適切な管理に努めます。	

3-2 マイクロフィルムの劣化対策（マイグレーション等）について情報収集、計画策定し、実行します。

○令和7年12月にマイクロフィルム受注が終わり、マイクロフィルム処理薬品も翌令和8年3月に受注終了となることがわかりました。新たなマイクロフィルム作成だけでなく、今後メンテナンスも含めて管理が難しくなるため、すでに所蔵しているマイクロフィルムのマイグレーション計画や劣化を遅らせる対策を検討し、実行します。

●令和8年度 計画策定

<R8 総括>

<R9 総括>

<R10 総括>

<R11 総括>

<R12 総括>